

平成23年度第1四半期における運用状況等

(平成23年4月～6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成23年度第1四半期（平成23年4月～6月）における運用環境について	1
2. 平成23年度第1四半期（平成23年4月～6月）のポートフォリオ別の運用状況	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
参考：用語の説明	5

1. 平成23年度第1四半期（平成23年4月～6月）における運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

（4月）

米経済指標が良好だったことなどから、外国株式は上昇しましたが、国内株式は、東日本大震災による企業業績の悪化懸念などから下落しました。為替は、米長期金利が低下したことなどから、ドルに対しては円高となり、一方、欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことなどから、ユーロに対しては円安となりました。日本の10年国債利回りは、震災復旧・復興による国債増発懸念から一時上昇しましたが、月末にかけて低下しました。

（5月）

米国の経済指標が低調だったことや各国の成長鈍化懸念、欧州の財政懸念の強まりなどから、世界的に株価は下落しました。為替は、ドルに対して一時79円台まで円高が進行しましたが、欧州の債務問題などから、やや円安となりました。日本の10年国債利回りは、米国の景気減速懸念などを受け低下し、概ね1.1%台で推移しました。

（6月）

米国経済指標の悪化や世界経済減速懸念、欧州財政懸念の強まり等を背景に、中旬にかけて、世界的に株価は下落基調で推移し、月末にかけては、ギリシャ議会で中期財政計画が可決されたこと等を受けて国内外株式は上昇基調となりました。為替は、弱い米国の経済指標からドル安が進み一時79円台まで円高が進みましたが、その後はギリシャ支援策の動向等を睨みながら、概ね80円台でもみ合い推移しました。日本の10年国債利回りは、国債の大量償還等による好需給を背景に、概ね1.1%台で推移しました。

（注）資産毎の「ベンチマーク・インデックスの推移」を4ページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

2. 平成23年度第1四半期(平成23年4月～6月)のポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成23年度第1四半期(平成23年4月～6月)における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成23年6月末の時価総額は1,482億36百万円となり、第1四半期総合収益は16百万円となりました。また、修正総合利回りは0.01%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第1四半期保険料・ 国庫補助投下額等②	計 ③(①+②)	平成23年6月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	101,560	1,393	102,953	103,669	69.9	716	0.70
自家運用	51,418	339	51,757	51,938	35.0	181	0.35
外部委託	50,142	1,054	51,196	51,731	34.9	535	1.06
国内株式	18,029	689	18,718	18,335	12.4	-383	-2.07
外国債券	7,579	306	7,885	7,933	5.4	48	0.64
外国株式	18,595	-192	18,404	18,052	12.2	-352	-1.89
短期資産	328	-67	260	247	0.2	-13	-2.37
合 計	146,091	2,129	148,220	148,236	100.0	16	0.01

- (注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。
 2. 国内債券のうち自家運用(満期保有分(基本的に50%))については、償却原価法を適用しています。
 3. 「第1四半期保険料・国庫補助投下額等②」欄は、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額を控除しています。
 4. 信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等は、短期資産で整理しています。
 なお、外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.005%、外部委託分が0.001%となりました。
 5. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第1四半期(平成23年4月～6月)における付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第1四半期繰入額等 ②	計 ③(①+②)	平成23年6月末 時価総額 ④	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	1,034	2	1,036	1,037	0.4	0.04
調整準備金	短期資産	941	-4	937	937	0.3	0.03
合 計		1,974	-1	1,973	1,974	0.7	0.03

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第1四半期繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額の差額を計上しています。

③ 受給権者ポートフォリオ

平成23年度第1四半期(平成23年4月～6月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第1四半期繰入額 等②	計 ③(①+②)	平成23年6月末 時価総額 ④	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	6,752	600	7,352	7,487	135	1.95
短期資産	132	166	299	299	0.0	0.01
合 計	6,884	766	7,651	7,785	135	1.90

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第1四半期繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、年金及び死亡一時金の給付額の差額を計上しています。

④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第1四半期(平成23年4月～6月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

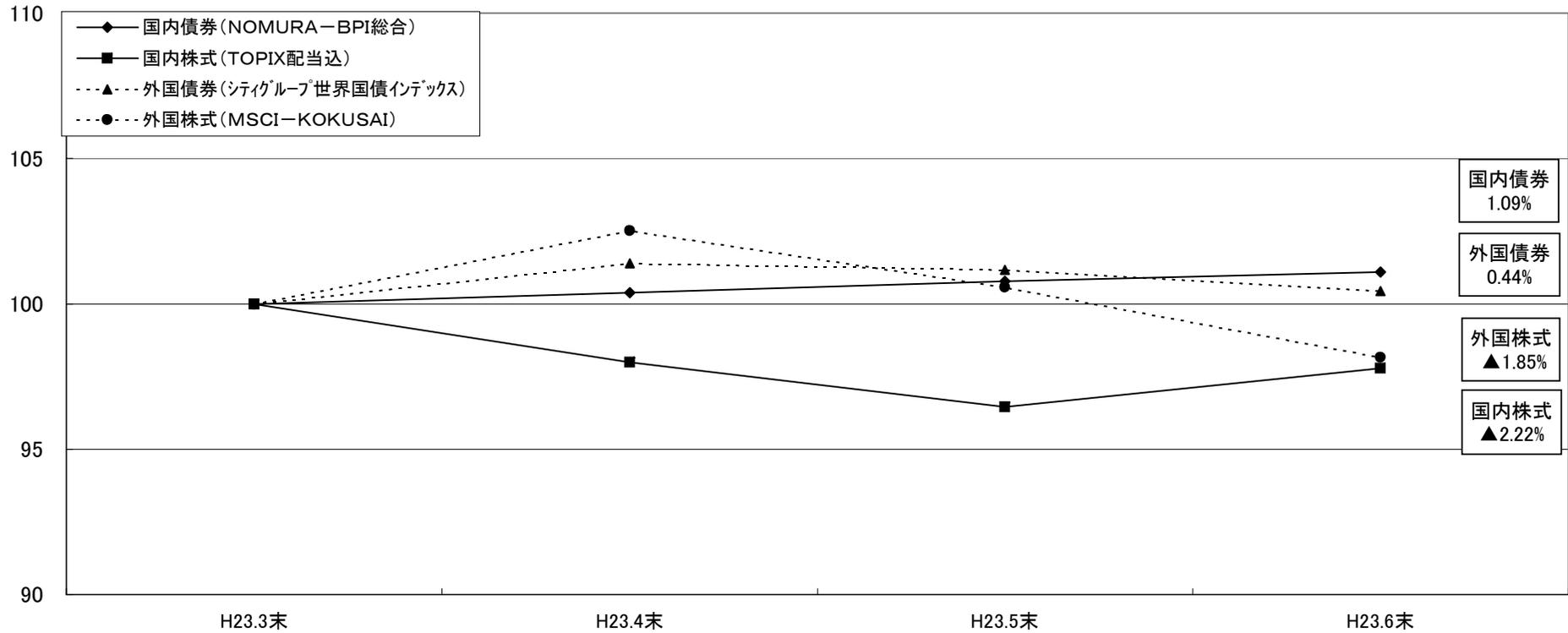
(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第1四半期繰入額②	計 ③(①+②)	平成23年6月末 時価総額 ④	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	575	-27	548	548	0.2	0.03

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第1四半期繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額の合計額を計上しています。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H23.3末=100)



○運用環境

	平成23年3月末	平成23年6月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.249 %	1.131 %
(NOMURA-BPI総合)	328.522 ポイント	332.090 ポイント
国内株式(日経225)	9,755.10 円	9,816.09 円
(TOPIX配当込)	1,102.75 ポイント	1,078.22 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	3.472 %	3.161 %
(独10年国債利回り)	3.354 %	3.025 %
(シテグループ世界国債インデックス)	290.67 ポイント	291.94 ポイント
外国株式(NYダウ)	12,319.73 ドル	12,414.34 ドル
(独DAX指数)	7,041.31 ポイント	7,376.24 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,209.121 ポイント	1,186.748 ポイント
為替レート(対ドル)	82.88 円	80.76 円
(対ユーロ)	117.62 円	117.09 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。